



指標・事業費・人件費の推移												
区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	千文比		%	千文比		%	千円					
2年度	1.4	0.9	155.6%	6.2	6.1	101.6%	1,199,519	249,928	55,118	894,473	1,061,183	41,955
3年度	1.4	1.5	93.3%	5.8	5.4	107.4%	1,788,423	445,295	321,337	1,021,791	1,438,997	36,300
4年度	1.4	1.7	82.4%	5.8	R5.11頃判明	-	1,347,999	257,064	146,004	944,931	1,100,742	30,458

## 2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	母子保健事業については、基礎的な事業は市町が行い、広域的、専門的な事業は県が実施している。周産期医療対策強化や先天性代謝異常等対策などのように広域的・専門的に実施しなければならないものや、市町が実施する事業であっても、乳幼児医療給付などの全県的に統一された支援を要するものについて県として推進しているところであり、県と市町の役割分担については、国の動向を注視して適宜、検討・見直しを行っている。								
高い											
成果指標A		説明	○成果動向:乳児死亡率の計画値は、「第2期えひめ・未来・子育てプラン」後期計画の目標値(R6の目標値1.4)としている。全都道府県中、元年度は全国1位の1.2、2年度も全国1位の0.9、令和3年度は全国11位の1.5となっている。 ○成果向上余地:乳児死亡率は既に世界トップクラスの低い水準であり、本県の値は全国的に上位で推移していることから、大幅な成果向上は見込めないが、周産期医療体制の整備や乳幼児医療給付等による早期の検査・健診・治療等により、低水準の維持又は低減が可能である。								
成果動向	横這い										
成果向上余地	成果向上が可能										
成果指標B		説明	○成果動向:人工妊娠中絶実施率の計画値は、前年度の全国平均値としている。本県の人工妊娠中絶実施率は全国平均よりも悪い状態であるが、改善へ向け推移している。なお、4年度実績値(衛生行政報告例)は未公表である。(令和5年11月公表予定) ○成果向上余地:人工妊娠中絶の理由は多岐に渡ることから、急激な成果向上は見込めないものの、今後も女性の健康にかかる教室・相談・健診等を充実させることにより、女性自身が女性特有の身体的特徴を理解し、健康の自己管理ができるようになった結果として、人工妊娠中絶率が低下することを見込むことができる。								
成果動向	横這い										
成果向上余地	成果向上が可能										
参考:構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.15	順調・向上			成果向上余地	1.30	成果向上が可能			

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

予算施策名

h f 10

母子保健医療の充実

1 乳幼児医療給付費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり							
指標種類1	指標名称1			計画	1423485	1361174	1250598			予算	事業費計	655,212	781,588	779,081	評価										
活動	0	70-	助成件数	件	実績	989760	1042804				1013322	国費													
					達成率	-	-				-	その他													
					県費	655,212	781,588				779,081	873,361													
成果	+	70-	助成割合	%	計画	100	100				100	決算	事業費計	633,255					760,245	682,586	見直し 方向性	方向1	このまま継続		
					実績	100	100				100		国費										方向2		
					達成率	100.00%	100.00%			100.00%	その他														
指標種類2	指標名称2			計画	100	100	100					予算	事業費計	633,255	760,245	682,586	評価								
活動	0	70-	助成割合	%	実績	100	100						100	国費											
					達成率	100.00%	100.00%						100.00%	その他											
					県費	633,255	760,245	682,586																	
成果	-	70-	乳児死亡率	千文比	計画	1.4	1.4	1.4	決算				事業費計	633,255	760,245	682,586					見直し 方向性	方向1	このまま継続		
					実績	0.9	1.5	R5.9判明					国費										方向2		
					達成率	155.56%	93.33%	-				その他													
指標種類3	指標名称3			計画	1.4	1.4	1.4					予算	事業費計	633,255	760,245	682,586	評価								
活動	+	70-	助成件数	件	実績	727	897						460	国費	82,895	154,944					68,347				
					達成率	90.88%	112.13%						57.50%	その他	35,971	289,377					130,407				
					県費	70,795	3,750			1,427															
活動	+	70-	助成件数	件	計画	800	800			800	決算		事業費計	147,095	331,241	127,718					見直し 方向性	方向1	休止・廃止		
					実績	472	442			R6.1頃判明			国費	65,350	105,945	51,341							方向2		
					達成率	104.89%	98.22%			-		その他	15,184	222,061	76,202										
指標種類1	指標名称1			計画	100	100	100					予算	事業費計	189,661	448,071	200,181	評価								
成果	+	70-	助成割合	%	実績	100	100						100	国費	82,895	154,944					68,347				
					達成率	100.00%	100.00%						100.00%	その他	35,971	289,377					130,407				
					県費	70,795	3,750	1,427																	
成果	+	70-	県内指定医療機関における特定不妊治療実績による出生児数	件	計画	450	450	450	決算				事業費計	147,095	331,241	127,718					見直し 方向性	方向1	休止・廃止		
					実績	472	442	R6.1頃判明					国費	65,350	105,945	51,341							方向2		
					達成率	104.89%	98.22%	-				その他	15,184	222,061	76,202										
指標種類2	指標名称2			計画	450	450	450					予算	事業費計	147,095	331,241	127,718	評価								
活動	+	70-	助成件数	件	実績	727	897						460	国費	65,350	105,945					51,341				
					達成率	90.88%	112.13%						57.50%	その他	35,971	289,377					130,407				
					県費	70,795	3,750			1,427															
活動	+	70-	助成件数	件	計画	800	800			800	決算		事業費計	147,095	331,241	127,718					見直し 方向性	方向1	休止・廃止		
					実績	472	442			R6.1頃判明			国費	65,350	105,945	51,341							方向2		
					達成率	104.89%	98.22%			-		その他	15,184	222,061	76,202										
指標種類3	指標名称3			計画	800	800	800					予算	事業費計	147,095	331,241	127,718	評価								
活動	+	70-	助成件数	件	実績	727	897						460	国費	65,350	105,945					51,341				
					達成率	90.88%	112.13%						57.50%	その他	35,971	289,377					130,407				
					県費	70,795	3,750	1,427																	
活動	+	70-	助成件数	件	計画	800	800	800	決算				事業費計	147,095	331,241	127,718					見直し 方向性	方向1	休止・廃止		
					実績	727	897	460					国費	65,350	105,945	51,341							方向2		
					達成率	90.88%	112.13%	57.50%				その他	15,184	222,061	76,202										
実施期間	始期	終期	事業の概要										予算	事業費計	189,661	448,071	200,181	評価							
H16	予定・見込 があれば記入	不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、医療保険が適用されず、高額な医療費がかかる配偶者間の不妊治療に要する費用の一部を助成する。	実績	100	100	100	国費	82,895						154,944	68,347										
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他	35,971						289,377	130,407										
			県費	70,795	3,750	1,427																			
H16	予定・見込 があれば記入	不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、医療保険が適用されず、高額な医療費がかかる配偶者間の不妊治療に要する費用の一部を助成する。	計画	450	450	450	決算	事業費計		147,095	331,241			127,718	見直し 方向性	方向1	休止・廃止								
			実績	472	442	R6.1頃判明		国費		65,350	105,945			51,341			方向2								
			達成率	104.89%	98.22%	-		その他		15,184	222,061		76,202												
実施期間	始期	終期	事業の概要										予算	事業費計	189,661	448,071	200,181	評価							
H26	予定・見込 があれば記入	児童の健全な育成のために、治療が長期にわたり、医療費負担も高額となる白血病などの小児慢性特定疾病について、医療費の患者負担分を補完する事業である。なお、中核市も事業実施主体となるため松山市を除く県内在住の18歳未満の患児を対象とする。	実績	100	100	100	国費	82,895						154,944	68,347										
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他	35,971						289,377	130,407										
			県費	70,795	3,750	1,427																			
H26	予定・見込 があれば記入	児童の健全な育成のために、治療が長期にわたり、医療費負担も高額となる白血病などの小児慢性特定疾病について、医療費の患者負担分を補完する事業である。なお、中核市も事業実施主体となるため松山市を除く県内在住の18歳未満の患児を対象とする。	計画	450	450	450	決算	事業費計	147,095			331,241		127,718	見直し 方向性	方向1	休止・廃止								
			実績	472	442	R6.1頃判明		国費	65,350			105,945		51,341			方向2								
			達成率	104.89%	98.22%	-		その他	15,184			222,061	76,202												
実施期間	始期	終期	事業の概要										予算	事業費計	189,661	448,071	200,181	評価							
H26	予定・見込 があれば記入	児童の健全な育成のために、治療が長期にわたり、医療費負担も高額となる白血病などの小児慢性特定疾病について、医療費の患者負担分を補完する事業である。なお、中核市も事業実施主体となるため松山市を除く県内在住の18歳未満の患児を対象とする。	実績	100	100	100	国費	82,895						154,944	68,347										
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他	35,971						289,377	130,407										
			県費	70,795	3,750	1,427																			
H26	予定・見込 があれば記入	児童の健全な育成のために、治療が長期にわたり、医療費負担も高額となる白血病などの小児慢性特定疾病について、医療費の患者負担分を補完する事業である。なお、中核市も事業実施主体となるため松山市を除く県内在住の18歳未満の患児を対象とする。	計画	450	450	450	決算	事業費計		147,095	331,241			127,718	見直し 方向性	方向1	休止・廃止								
			実績	472	442	R6.1頃判明		国費		65,350	105,945			51,341			方向2								
			達成率	104.89%	98.22%	-		その他		15,184	222,061		76,202												
実施期間	始期	終期	事業の概要										予算	事業費計	189,661	448,071	200,181	評価							
H26	予定・見込 があれば記入	児童の健全な育成のために、治療が長期にわたり、医療費負担も高額となる白血病などの小児慢性特定疾病について、医療費の患者負担分を補完する事業である。なお、中核市も事業実施主体となるため松山市を除く県内在住の18歳未満の患児を対象とする。	実績	100	100	100	国費	82,895						154,944	68,347										
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他	35,971						289,377	130,407										
			県費	70,795	3,750	1,427																			
H26	予定・見込 があれば記入	児童の健全な育成のために、治療が長期にわたり、医療費負担も高額となる白血病などの小児慢性特定疾病について、医療費の患者負担分を補完する事業である。なお、中核市も事業実施主体となるため松山市を除く県内在住の18歳未満の患児を対象とする。	計画	450	450	450	決算	事業費計	147,095			331,241		127,718	見直し 方向性	方向1	休止・廃止								
			実績	472	442	R6.1頃判明		国費	65,350			105,945		51,341			方向2								
			達成率	104.89%	98.22%	-		その他	15,184			222,061	76,202												
実施期間	始期	終期	事業の概要										予算	事業費計	189,661	448,071	200,181	評価							
H26	予定・見込 があれば記入	児童の健全な育成のために、治療が長期にわたり、医療費負担も高額となる白血病などの小児慢性特定疾病について、医療費の患者負担分を補完する事業である。なお、中核市も事業実施主体となるため松山市を除く県内在住の18歳未満の患児を対象とする。	実績	100	100	100	国費	82,895						154,944	68,347										
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他	35,971						289,377	130,407										
			県費	70,795	3,750	1,427																			
H26	予定・見込 があれば記入	児童の健全な育成のために、治療が長期にわたり、医療費負担も高額となる白血病などの小児慢性特定疾病について、医療費の患者負担分を補完する事業である。なお、中核市も事業実施主体となるため松山市を除く県内在住の18歳未満の患児を対象とする。	計画	450	450	450	決算	事業費計		147,095	331,241			127,718	見直し 方向性	方向1	休止・廃止								
			実績	472	442	R6.1頃判明		国費		65,350	105,945			51,341			方向2								
			達成率	104.89%	98.22%	-		その他		15,184	222,061		76,202												
実施期間	始期	終期	事業の概要										予算	事業費計	189,661	448,071	200,181	評価							
H26	予定・見込 があれば記入	児童の健全な育成のために、治療が長期にわたり、医療費負担も高額となる白血病などの小児慢性特定疾病について、医療費の患者負担分を補完する事業である。なお、中核市も事業実施主体となるため松山市を除く県内在住の18歳未満の患児を対象とする。	実績	100	100	100	国費	82,895						154,944	68,347										
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他	35,971						289,377	130,407										
			県費	70,795	3,750	1,427																			
H26	予定・見込 があれば記入	児童の健全な育成のために、治療が長期にわたり、医療費負担も高額となる白血病などの小児慢性特定疾病について、医療費の患者負担分を補完する事業である。なお、中核市も事業実施主体となるため松山市を除く県内在住の18歳未満の患児を対象とする。	計画	450	450	450	決算	事業費計	147,095			331,241		127,718	見直し 方向性	方向1	休止・廃止								
			実績	472	442	R6.1頃判明		国費	65,350			105,945		51,341			方向2								
			達成率	104.89%	98.22%	-		その他	15,184			222,061	76,202												
実施期間	始期	終期	事業の概要										予算	事業費計	189,661	448,071	200,181	評価							
H26	予定・見込 があれば記入	児童の健全な育成のために、治療が長期にわたり、医療費負担も高額となる白血病などの小児慢性特定疾病について、医療費の患者負担分を補完する事業である。なお、中核市も事業実施主体となるため松山市を除く県内在住の18歳未満の患児を対象とする。	実績	100	100	100	国費	82,895						154,944	68,347										
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他	35,971						289,377	130,407										
			県費	70,795	3,750	1,427																			
H26	予定・見込 があれば記入	児童の健全な育成のために、治療が長期にわたり、医療費負担も高額となる白血病などの小児慢性特定疾病について、医療費の患者負担分を補完する事業である。なお、中核市も事業実施主体となるため松山市を除く県内在住の18歳未満の患児を対象とする。	計画	450	450	450	決算	事業費計		147,095	331,241			127,718	見直し 方向性	方向1	休止・廃止								
			実績	472	442	R6.1頃判明		国費		65,350	105,945			51,341			方向2								
			達成率	104.89%	98.22%	-		その他		15,184	222,061		76,202												
実施期間	始期	終期	事業の概要										予算	事業費計	189,661	448,071	200,181	評価							
H26	予定・見込 があれば記入	児童の健全な育成のために、治療が長期にわたり、医療費負担も高額となる白血病などの小児慢性特定疾病について、医療費の患者負担分を補完する事業である。なお、中核市も事業実施主体となるため松山市を除く県内在住の18歳未満の患児を対象とする。	実績	100	100	100	国費	82,895						154,944	68,347										

4 先天性代謝異常等対策費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	1成果向上余地が小 さい							
指標種類1	指標名称1			単位	計画	100	100	100	/	予算	事業費計	10,557	32,942	16,112	15,430	評価	4成果順調である 向上余地 1成果向上余地が小さい								
成果 + 70-	県内出生時の検査受診率	%	実績	100	100	100	達成率	100.00%			100.00%	100.00%	国費								その他	10,557	32,942	16,112	15,430
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%		県費			8,546	13,578		13,225											
			計画	35	30	30																			
指標種類2	指標名称2			単位	計画	35	30	30			決算	事業費計	8,546	13,578	13,225					見直し 方向性	方向1	このまま継続			
成果 - 70-	異常と判定された数	人	実績	26	39	24	達成率	134.62%				76.92%	125.00%	国費									その他	方向2	
			達成率	134.62%	76.92%	125.00%		県費		8,546		13,578	13,225		方向3										
			計画	11500	11000	11000																			
指標種類3	指標名称3			単位	計画	11500	11000	11000		人役			0.8	0.8	0.8	人件費									
活動 + 70-	検査件数	件	実績	9245	9210	8479	達成率	80.39%		83.73%		77.08%		5,413	4,840		4,777								
			計画	9245	9210	8479																			
実施 期間	始期	終期	事業の概要																						
	S52	予定・見込 があれば記入	新生児が成長して心身障がい等を発症する先天性代謝異常等については、特殊ミルク等の早期治療により発症の予防・軽減ができることから、県内出生の新生児を対象にマススクリーニング検査を実施することにより、早期発見に努めて心身障害児の発生を予防する。																						

5 周産期医療対策強化事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり								
指標種類1	指標名称1			単位	計画	1	1	1	/	予算	事業費計	50,187	58,350	53,092	49,691	評価	3成果横ばい 向上余地 2一定の成果向上余地あり									
活動 + 70-	周産期医療協議会開催回数	回	実績	2	1	1	達成率	200.00%			100.00%	100.00%	国費	47,404	51,969					48,388	46,692	その他	2,400	2,400	2,400	2,400
			達成率	200.00%	100.00%	100.00%		県費			383	3,981		2,304	599											
			計画	3.6	3.6	3.6																				
指標種類2	指標名称2			単位	計画	3.6	3.6	3.6			決算	事業費計	48,528	45,378	36,504					見直し 方向性	方向1	このまま継続				
成果 - 70-	周産期死亡率	千分比	実績	3.3	3.2	4.2	達成率	109.09%				112.50%	85.71%	国費	46,468						39,972	32,394	その他	方向2		
			達成率	109.09%	112.50%	85.71%		県費		261		3,433	2,107		方向3											
			計画	6	6	6																				
指標種類3	指標名称3			単位	計画	6	6	6		人役			0.4	0.5	0.5	人件費										
成果 + 70-	総合（地域）周産期母子医療センター設置数	件	実績	6	6	6	達成率	100.00%		100.00%		100.00%		2,707	3,025		2,986									
			計画	6	6	6																				
実施 期間	始期	終期	事業の概要																							
	H16	予定・見込 があれば記入	産科医師の不足等により分娩を取り扱う医療機関が年々減少している中、安心して子どもを産み育てることのできる体制の整備が求められていることから、地域において妊娠、出産から新生児に至る高度専門的な医療を提供する周産期医療体制の推進を図る。																							

6 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり								
指標種類1	指標名称1			単位	計画	20	25	25	/	予算	事業費計	7,993	7,993	7,993	8,547	評価	3成果横ばい 向上余地 2一定の成果向上余地あり									
成果 + 70-	個別支援実施人数	人	実績	4	6	10	達成率	20.00%			24.00%	40.00%	国費	3,996	3,996					3,996	4,273	その他	3,997	3,997	3,997	4,274
			達成率	20.00%	24.00%	40.00%		県費			7,967	7,936		7,927												
			計画	900	900	900																				
指標種類2	指標名称2			単位	計画	900	900	900			決算	事業費計	7,967	7,936	7,927					見直し 方向性	方向1	このまま継続				
活動 + 70-	相談件数	件	実績	853	1024	1219	達成率	94.78%				113.78%	135.44%	国費	3,996						3,996	3,996	その他	方向2		
			達成率	94.78%	113.78%	135.44%		県費		3,970		3,940	3,931		方向3											
			計画	1	1	1																				
指標種類3	指標名称3			単位	計画	1	1	1		人役			0.2	0.2	0.2	人件費										
活動 + 70-	慢性疾病児童等地域支援協議会の開催数	回	実績	1	1	1	達成率	100.00%		100.00%		100.00%		1,354	1,210		1,195									
			計画	1	1	1																				
実施 期間	始期	終期	事業の概要																							
	H27	予定・見込 があれば記入	慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立促進を図るため、小児慢性特定疾病児童等及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うとともに、関係機関との連絡調整その他の事業を行う。							現状の相談体制を維持する。																

7 身体障がい児育成医療給付費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい			
指標種類1	指標名称1			計画	100	100	100			予算	事業費計	9,089	7,882	6,813	6,280	評価					
成果	+	70-	給付割合	%	実績	100	100	100			国費										
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%			その他										
指標種類2	指標名称2			計画	1000	900	900			決算	事業費計	2,760	2,712	1,723			見直し 方向性	方向1	このまま継続		
活動	0	70-	申請件数	件	実績	715	616	556			国費							方向2			
					達成率	-	-	-			その他								方向3		
指標種類3	指標名称3			計画	1000	900	900			県費	9,089	7,882	6,813	6,280							
活動	0	70-	給付件数	件	実績	715	616	548		事業費計	2,760	2,712	1,723								
					達成率	-	-	-		国費											
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人役	0.2	0.2	0.2								
	S29	予定・見込 があれば記入	身体に障がいのある児童、または機能障害を招来するおそれのある児童については、早期発見、早期治療によりその障がいの治癒もしくは軽減を図ることが可能であるので、治療効果のあるものに対して医療の給付を行うことにより、児童福祉の向上を図る。							人件費	1,354	1,210	1,195								

8 未熟児養育医療給付費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい			
指標種類1	指標名称1			計画	300	300	300			予算	事業費計	20,953	19,814	23,220	22,089	評価					
活動	0	70-	助成件数	件	実績	194	244	216			国費										
					達成率	-	-	-			その他										
指標種類2	指標名称2			計画	100	100	100			決算	事業費計	17,524	15,943	15,574			見直し 方向性	方向1	このまま継続		
活動	+	70-	助成割合	%	実績	100	100	100			国費							方向2			
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%			その他							方向3			
指標種類3	指標名称3			計画	1.4	1.4	1.4			県費	20,953	19,814	23,220	22,089							
成果	-	70-	乳児死亡率	%	実績	0.9	1.5	1.7		事業費計	17,524	15,943	15,574								
					達成率	155.56%	93.33%	82.35%		国費											
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人役	0.2	0.2	0.2								
	S33	予定・見込 があれば記入	未熟児は正常な新生児に比べて生理的に欠陥があり、疾病に対する抵抗力も弱く、死亡率も高い。このため、医療を必要とする未熟児に対し、養育に必要な医療の給付を行い、母子保健の向上を図る。							人件費	1,354	1,210	1,195								

9 生涯を通じた女性の健康支援事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい				
指標種類1	指標名称1			計画	6.2	5.8	5.8			予算	事業費計	1,959	2,165	3,973	3,878	評価						
成果	-	70-	人工妊娠中絶率	%	実績	6.1	5.4	R5.11頃判明			国費	1,291	1,400	2,232	2,185		見直し 方向性	方向1	このまま継続			
					達成率	101.64%	107.41%		その他									方向2				
指標種類2	指標名称2			計画	1000	1000	1000			決算	事業費計	1,143	1,231	3,180				見直し 方向性	方向1	このまま継続		
活動	+	70-	健康教育事業参加人数	人	実績	934	1124	1115			国費	668	765	1,741	1,693				方向2			
					達成率	93.40%	112.40%	111.50%			その他								方向3			
指標種類3	指標名称3			計画	1500	1500	1500			県費	449	426	1,234									
活動	+	70-	面接相談件数	件	実績	1174	1341	671		事業費計	1,143	1,231	3,180									
					達成率	78.27%	89.40%	44.73%		国費	694	805	1,946									
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人役	1.5	1.5	1.5									
	H11	予定・見込 があれば記入	女性は、ライフサイクルを通じてさまざまな健康上の支障や心身にわたる悩みを抱えている。女性自身が健康の自己管理を行うことができるよう、相談体制を整備するとともに、適切な健康教育を実施し、生涯を通じた女性の健康の保持増進と生活の質の向上を図る。							人件費	10,149	9,075	8,957									

新型コロナウイルス感染症の影響もあり一時減少したものの、令和3年度以降は改善傾向にあり、健康教育を通じて正しい知識の普及啓発を図り、相談にも適切に対応している。

現状の相談支援体制を維持する。

10 新型コロナウイルス感染症妊産婦支援事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	1成果向上余地为小 さい		
指標種類1	指標名称1			単位	計画	1442	3381	1211		予算	事業費計	8,488	97,288	36,303	5,175	評価	4成果順調である 向上 余地			
活動	0	70-	検査受診者数	件	実績	378	953	793			国費	8,488	67,728	24,328	2,587					
					達成率	-	-	-			その他		29,560	11,975	2,588					
											県費									
指標種類2	指標名称2			単位	計画	10	10	10		決算	事業費計	7,560	60,827	19,684	見直し 方向性	方向1	見直し（拡大・縮小・執行方法の改善等）			
活動	0	70-	コロナ感染妊産婦に対する相談支援	人	実績	0	0	0			国費	40,508	22,884	17,864		方向2	有効性改善			
					達成率	-	-	-			その他		8,819				方向3			
											県費	-32,948	29,124	1,820						
					計画					人役		0.3	0.3	0.3	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い廃止。					
					実績					人件費		2,030	1,815	1,792						
					達成率	-	-	-		事業の概要										
実施 期間	始期	終期	新型コロナウイルスの流行により、妊産婦は日常生活が制約され、自身のみならず胎児・新生児の健康等について強い不安を抱えて生活をしている。このため、希望妊婦への分娩前検査を行うことにより、妊産婦への寄り添った支援を実施する。																	

4-2 事務事業管理シート（評価対象外事業）

予算施策名 **h f 10**

**母子保健医療の充実**

1 低出生体重児育児支援事業費	コスト (単位：千円)					コスト (単位：千円)	R2年度 R3年度 R4年度		
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R2年度		R3年度	R4年度	
評価対象外の理由	予算	事業費計	0	0	1,222	0	0	666	
単年度事業		国費				国費			
評価対象外その他の理由(記述)		その他			1,222	その他		666	
		県費				県費			
						人役			
					人件費				